

- [磁性材料・エネルギー関連材料] 焼かないセラミックス・自動実験
- 12 研究 DX を活用したセラミックス低温製造技術の開発とサーキュラー技術への展開
マルチマテリアル研究部門 カーボンニュートラル材料研究グループ 山口 祐貴
- [組織・拠点・プラットフォーム] 自動実験
- 13 AUTO 実験工房は研究者の相棒
マルチマテリアル研究部門 申 ウソク
- [組織・拠点・プラットフォーム] 複合材料
- 14 循環型社会の実現に向けた革新的複合材料の開発
マルチマテリアル研究部門 三木 恒久
(金沢工大・産総研 先端複合材料ブリッジイノベーションラボラトリ担当)
- [組織・拠点・プラットフォーム] アルミニウム・資源循環
- 15 アルミニウムのアップサイクル技術
サーキュラーテクノロジー実装研究センター 尾村 直紀
- [組織・拠点・プラットフォーム] AIST Solutions
- 16 テクノナレッジ講座
株式会社 AIST Solutions プロデュース事業本部 マテリアル DX 事業構想グループ 浅沼 俊英
- [組織・拠点・プラットフォーム] 中国センター
- 17 ナノセルロース複合材料の開発
中国センター 機能化学研究部門 セルロース材料研究グループ 榊原 圭太
- [組織・拠点・プラットフォーム] 東北センター
- 18 プラスチックのケミカルリサイクル
東北センター 化学プロセス研究部門 有機資源変換研究グループ 日吉 範人
- [組織・拠点・プラットフォーム] 中部センター
- 19 マテリアル・プロセスイノベーション (MPI) プラットフォーム
中部センター 多田 周二、多井 豊

17:15 閉会

17:15
18:15 懇談会

アクセス できるだけ公共交通機関をご利用ください

ミッドランドホール

〒450-6205 名古屋市中村区名駅四丁目7番1号
ミッドランドスクエア オフィスタワー5F



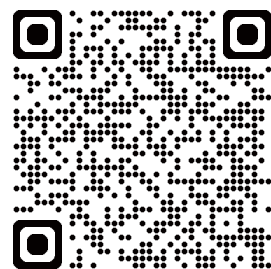
名古屋駅(徒歩5分) 地下鉄名古屋駅(徒歩1分)
名鉄名古屋駅・近鉄名古屋駅(徒歩3分)

お問い合わせ ご不明な点は下記の連絡先へお問い合わせください

国立研究開発法人産業技術総合研究所
中部センター産学官連携推進室

✉ M-event-chubu-ml@aist.go.jp

本イベントの詳細は
こちらから



<https://unit.aist.go.jp/chubu/tbf/2025/index.html>



産総研中部センター 「未来モビリティ材料」共創フェア 循環経済を目指した オープンイノベーション

主催：国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中部センター・株式会社 AIST Solutions

10.31 2025 金

13:00-17:15 参加費無料

懇談会 17:15-18:15 @ミッドランドホール

参加登録はこちらから

登録
締切 10月27日(月)

※定員に達し次第締め切りとさせていただきます



- 13:00-13:10 開会あいさつ
- 13:10-13:50 特別講演①
サーキュラーエコノミーを支える
高度分離技術開発戦略と易解体設計への展望
早稲田大学理工学術院 所 千晴 氏
- 13:50-14:30 特別講演②
トヨタ自動車の
サーキュラーエコノミーへの取り組み
トヨタ自動車株式会社 石田 栄治 氏
- 14:45-15:05 講演①
CE 指標値の時間推移から見る
リマニュファクチャリング配慮設計価値
産業技術総合研究所 中島 智彦
- 15:05-15:25 講演②
循環型社会の実現に向けた
革新的複合材料の開発
産業技術総合研究所 三木 恒久
- 15:25-15:45 講演③
アルミニウムの資源循環に向けた
不純物除去技術と高度観察技術
産業技術総合研究所 村上 雄一朗
- 15:45-17:15 ポスターセッション
- 17:15-18:15 懇談会

循環経済を目指したオープンイノベーション

産総研中部センターと株式会社 AIST Solutions は、材料研究で地域の社会課題である未来モビリティの取り組みに貢献するため、「未来モビリティ材料」をキーワードとして共創型のフェアを開催します。今回のフェアは、『循環経済を目指したオープンイノベーション』と題し、関連する技術について皆様と共に考える場として開催します。講演会、ポスターセッションにより、資源循環に関する最新情報や産総研の取り組みを紹介することで、当該社会課題解決に向けたオープンイノベーションの実践につなげることを目的とします。



プログラム

13:00 開会あいさつ

13:10 特別講演①

サーキュラーエコノミーを支える
高度分離技術開発戦略と易解体設計への展望

所 千晴 氏 早稲田大学 理工学術院教授・創造理工学部長 / 研究科長

サーキュラーエコノミーを実現するためには、産官学が連携し、部材や素材ができるだけ機能を保ったまま循環するよう、多重のループを構築していく必要がある。その鍵となるのが、複雑化する製品から有価資源を選択的に回収するための高度な分離技術と、それを支える設計思想である。本講演では、そのための分離技術開発の戦略と、分離技術の多様化が切り拓く易解体設計への展望を紹介する。

13:50 特別講演②

トヨタ自動車におけるサーキュラーエコノミーへの取り組みについて

石田 栄治 氏 トヨタ自動車株式会社 先進技術開発カンパニー プロジェクト領域 サーキュラーエコノミー推進室 担当部長

トヨタでは過去から自動車リサイクルに対する取り組みを続けているが、昨今のサーキュラーエコノミーへの動きに対応すべく、クルマや部品を「より長く使う」、「より効率的に使う」、「廃棄物を出さない」を目指してさらなる取り組みを始めている。本講演では、現在の取り組みの概要や今後の方向性を中心に紹介する。

14:30 休憩

14:45 講演①

CE 指標値の時間推移から見る
リマニュファクチャリング配慮設計価値

中島 智彦 産業技術総合研究所 製造基盤技術研究部門
スマート薄膜プロセスデザイン研究グループ 研究グループ長

資源循環 / サーキュラーエコノミー社会の実現へ向け、その指針を得ていくための指標構築の取り組みの一つを紹介し、指標値の時間推移から見えてくる”リマニュファクチャリング配慮設計価値”についてペロブスカイト太陽電池を題材に議論する。

15:05 講演②

循環型社会の実現に向けた革新的複合材料の開発

三木 恒久 産業技術総合研究所 マルチマテリアル研究部門 総括研究主幹
(金沢工大・産総研 先端複合材料ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ担当)

ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ（BIL）は、企業ニーズを核として、産総研と地域大学等が持つ研究シーズを用いた連携拠点であり、その第一弾として金沢工大・産総研 BIL が 2023 年に始動した。天然素材や循環資源を用いた複合材料の開発テーマについて地元企業と共同研究を推進することで、事業化を支援し、新産業創出・地域経済の活性化・社会課題解決を目指した活動事例を紹介する。

15:25

講演③

アルミニウムの資源循環に向けた不純物除去技術と高度観察技術

村上 雄一朗 産業技術総合研究所 サーキュラーテクノロジー実装研究センター 軽金属リサイクル研究チーム 主任研究員
マルチマテリアル研究部門 軽量金属材料研究グループ 研究グループ長

アルミニウムは製造時に多量の CO₂を排出するが、再生材の活用で削減可能である。産総研中部センターでは、溶融・凝固プロセスにおいて電磁力などを付与して不純物元素を除去、高品位材料への再利用を可能にする技術を開発している。また、凝固現象のその場観察によりメカニズムを把握し、技術の高度化を進めている。

15:45

ポスターセッション

01 [セラミックス・粉体・複合材料・接合] 高熱伝導窒化ケイ素
脱炭素に貢献する高熱伝導率窒化ケイ素の開発
マルチマテリアル研究部門 構造セラミックス研究グループ 周 游、中島 佑樹、Ngo Minh Chu、宮崎 広行、平尾 喜代司、福島 学

02 [セラミックス・粉体・複合材料・接合] 熱伝導性無機フィラー
次世代型放熱用複合材料を実現するための熱伝導性無機フィラー
マルチマテリアル研究部門 構造セラミックス研究グループ 佐藤 公泰、福島 学

03 [セラミックス・粉体・複合材料・接合] 炭素繊維・標準化
炭素繊維の資源循環に向けた試験技術開発とその標準化
マルチマテリアル研究部門 セラミック部材プロセス研究グループ 今井 祐介、杉本 慶喜、堀田 幹則

04 [セラミックス・粉体・複合材料・接合] アンチモン回収・太陽光パネルカバーガラス
太陽光パネルカバーガラスからの希少元素抽出プロセスの開発
マルチマテリアル研究部門 次世代電子材料研究グループ 三村 憲一、若林 隆太郎

05 [セラミックス・粉体・複合材料・接合] 異材接合・良否判定
資源循環型社会に向けた軽量金属の健全性評価技術
マルチマテリアル研究部門 部材接合研究グループ 丸山 豊

06 [軽金属・環境調和材料] アルミニウム・資源循環
アルミニウムの資源循環に向けた不純物除去技術と高度観察技術
マルチマテリアル研究部門 軽量金属材料研究グループ 村上 雄一朗

07 [軽金属・環境調和材料] 木質材料・資源循環
木質資源の循環利用に向けたアップグレードリサイクル技術
マルチマテリアル研究部門 木質複合材料研究グループ 関 雅子

08 [軽金属・環境調和材料] ガスセンサー・DX
センシング技術と DX の活用による持続可能な社会への貢献
マルチマテリアル研究部門 センシング材料研究グループ 伊藤 敏雄

09 [軽金属・環境調和材料] 調光材料
夏冬の生活を快適にする気候応答型の調光窓ガラス
マルチマテリアル研究部門 環境調和界面材料研究グループ 垣内田 洋

10 [磁性材料・エネルギー関連材料] 永久磁石・資源循環
モーター部材のサーキュラーエコノミー
マルチマテリアル研究部門 高機能金属材料プロセス研究グループ 細川 明秀

11 [磁性材料・エネルギー関連材料] 熱の循環利用・熱制御材料
サーキュラー・サーマル・エコノミーのための熱マネジメント材料の開発
マルチマテリアル研究部門 高機能磁性材料研究グループ 藤田 麻哉